

Bunka Naavi 文化ナビ

〒 757-0002 山陽小野田市大字郡 1754 番地 ☎ 71-1000 FAX71-1002 E-mail:bunka-kaikan@city.sanyo-onoda.lg.jp

ガラス探訪アーカイブス

山陽小野田市とガラス

このコーナーでは、本市が所蔵する現代ガラス作品とガラス作家を紹介します。

第2回 西川 慎 (ガラス作家)

ガラスをコンセプトとしたまちづくりに取り組む本市が、3年に1度開催する「現代ガラス展」。平成13年(2001年)に開催した「第1回現代ガラス展 in おのだ」で見事大賞を受賞したのは、当時富山ガラス造形研究所の職員だった西川慎さんの「月齢」でした。この受賞は西川さんがガラス作家として活動していく礎となり、西川さんはその後も数々のコンクールで受賞を重ねます。本市焼野海岸に立ち上げた「ニシカワガラス&アート」を拠点に創作活動に取り組む現在、活動は展覧会への出展、個展の開催だけに留まりません。作品が国内外の様々な建築物のオブジェとして採用されるなど、その感性と確かな技術は多方面で活躍を続けています。また、自身の創作活動の傍ら、きららガラス未来館の若手ガラス作家の指導・育成にも尽力するなど、本市のガラス文化を牽引するひとりとして活動しています。



【月齢】(写真右) 粘土で作った原型の中にガラスの塊を流し込み、焼成、ゆっくり徐冷した後、加工・研磨し完成したものです。深いブルーのグラデーションが、夜空に静かに佇む月を感じさせます。この作品は現在、きららガラス未来館に展示しています。

「第8回現代ガラス展 in 山陽小野田」について

新型コロナウイルス感染症予防のため、「第8回現代ガラス展 in 山陽小野田」の開催は規模を縮小します。作品審査、受賞作品決定、図録の作成は実施します。全国から集まったガラス作品82点は、受賞作品が決まり次第、広報「さんようおのだ」および市ホームページでお知らせします。

◆展覧会(中止)

7月11日(土)～8月22日(土) おのだサンパーク2階大催事場

◆特別作品展(中止)

8月25日(火)～30日(日) 山口県立萩美術館・浦上記念館

文化の薫るまちになあれ
不二輸送機ホール
(山陽小野田市文化会館)
休館日: 第1・第3火曜日

COLUMN

季節の変化を楽しむ 日本人の美意識

風そよぐ ならの小川の夕暮れは
みそぎぞ夏の しるしなりける

従二位家隆

〈現代訳〉風がそよそよと檜の葉にふいている。この、ならの小川の夕暮れは涼しくて秋のようですが、「夏越しのみそぎ」の行事が、今がまだ夏であることの証拠です。

「ならの小川」は、京都・上賀茂神社に流れる御手洗川のことです。川名と「檜」の掛詞になっています。毎年、この小川で「みそぎ」が行われています。「みそぎ」とは、6月と12月に行われる、川の水で身を清め、罪やけがれ、疫病を払う行事です。この歌で詠まれているのは、6月30日の「夏越しのみそぎ(六月祓)」です。当時の暦では、7月からが「秋」でしたので、6月30日は夏の最後の日です。涼しいそよ風に秋の到来を感じるとともに、去り行く夏を惜しむ、情緒豊かな和歌です。

現在は、まだまだこれからが夏本番です!みなさんが今、直面している困難に負けず、充実した心熱くなるような夏を過ごされますように祈って!



小野田高等学校小倉百人一首かるた部
顧問 青池 のぞみ